

# 津久井 瑠音 Tsukui rune

1997年生まれ。東京都在住。

茨城大学在学中に演劇研究会に所属。卒業後はENBUゼミナールで演技を学ぶ。

2021年、劇作家協会主催「戯曲セミナー」に参加し、戯曲創作の基礎を学ぶ。

現在は劇作を中心に創作活動を展開し、オンライン上で短編や小説を発表している。

## 《webサイト・SNS》

Xアカウント:@prengeki0191

note: [https://note.com/nice\\_lotus404/portal](https://note.com/nice_lotus404/portal)

→5分で読める創作エッセイと短編小説・戯曲を毎日発信中



## 《活動歴》

### ○ 映画／映像作品

2019年11月 『トリンタ』脚本・監督:高野亜沙美(出演) 於:シネマハウス大塚

2020年 オンライン演劇『のりこは激怒した。そして、一人になった。』(構成・演出)

### ○舞台(演出、作・演出)

#### 大学在学中

2016年12月 『幸せ最高ありがとうマジで!』作:本谷有希子(演出) 於:茨城大学構内

2017年4月 『プラヌラ』作:高石紗和子(演出) 於:茨城大学構内

2017年8月 『ノスタルジック・カフェ』作:青田ひでき(劇団 BLUSETAXI)(演出)  
於:水戸芸術館 ACM シアター

2017年2月 津久井瑠音企画公演『今、この時を、エンゲキ。』(作・演出) 於:稽古場「風」

#### 卒業後

2019年10月 自主企画公演『台本を書くこと』(作・演出) 於:ENBUゼミナール

### ○舞台(出演)

#### 大学在学中(下記他多数)

2016年9月 音楽劇『夜のピクニック』 於:水戸芸術館 ACM シアター  
作:高橋知伽江／演出:深作健太(ローカルキャスト)

2018年6月 塩谷亮の美味しい朗読会 デザート編『6月のプリン日和』(出演)  
於:VILLAGE310(水戸)

#### 卒業後

2019年4月 ENBUゼミナール卒業公演 玉田企画『少年期の脳みそ』(出演)

2021年6月 知らない星『だったら、もうどうにでもなれよ』(出演)  
於:インディペンデントシアターOji

2022年10月 竹田洋平企画『棄権宇宙エレベーター』(出演)

## 《ご挨拶》

「面接ってお互いに鎧を纏って、参加する儀式みたい」とずっと感じていました。

「その鎧が外れて、本来の自分が顕になつたら面白いなー、それを劇にできないかなー」

のワンアイデアで創作し、登場人物2人のみの17ページの短編ができました。

その短編を友人に読んでもらったところ、思った以上に高評価をいただきました。

そこで、欲が出て、短編のままにするのはもったいないと思い、「面接の嘘」という初期モチーフから「働くためにつかないといけない嘘」にモチーフを変更しました。

登場人物も4人に増え、本戯曲が完成しました。

自分なりに手応えを感じた作品ではありました、発表の機会が自分の力不足ですぐには作れず、どうしたものがと悩んでいたところ本企画に出会った次第です。

私が本日の会を通して、特に皆様にお聞きしたいのは、私が本戯曲を通して作り上げた世界が一つの日常として、観客の皆様が捉えられているか、という点です。

演劇はフィクションですが、観客にとって一つの日常として感じられなければ成立しないのではないかと考えています。

その点、皆様の忌憚なき意見を聞かせていただきたいです。

演劇に人を救える力があるとは思いませんが、人の行動を変える力があると私は思っております。

私が描いた本戯曲にその力が備わっているかも、最後までリーディングを聴いてくださった皆様にお聞きしたいです。

その他にも様々な改稿の余地がある作品であると私は認識しております。

本日はお越しいただき、本当にありがとうございます。

長丁場ではございますが、最後まで有意義な時間を過ごせたらと思っております。

微力ではございますが、精一杯努めます。

本日は宜しくお願ひ致します。

—— 津久瑠音